

2016年3月（第2版）（新記載要領に基づく改訂）
2010年4月（第1版）

機械器具 30 結紮器及び縫合器
一般医療機器 再使用可能な外科手術用チューブクランプ 34954000

ボスチューブ鉗子

【禁忌・禁止】

- ・強アルカリ・強酸性の洗浄及び消毒剤は、使用禁止とする。[器具を腐食させ寿命を縮めるため]
- ・MRI室で5 Gaussを超える磁場領域（立入禁止領域）に本品を持ち込む場合は十分気を付けること。[画像への悪影響や、磁性体が磁石に吸引され危害を及ぼす可能性がある]
- ・ヤコブ病（CJD）患者、又はその疑いのある患者には、製品再処理に関連する国内規制を順守すること。[二次感染を予防するため]

【形状・構造及び原理等】

＜形状及び構造＞

本品の形状、構造は下記代表写真のとおり。



＜原材料＞

ステンレス、チタン又はアルミニウム

＜原理＞

2枚の板状の先端部によりチューブを把持又は圧迫支持する。掛け外しが容易にできるようにラチェットがついているものもある。

【使用目的又は効果】

チューブを把持又は圧迫するために用いる手術器具をいう。本品は滅菌後に再使用可能である。

【使用方法等】

1. 使用前

本品は未滅菌品である。使用前には必ず洗浄を行い下記の条件又は医療機関により検証され確認された滅菌条件により滅菌を行う。

標準的滅菌条件：高圧蒸気滅菌法

温度	時間
121℃	20分間
132℃	10分間

2. 使用方法

- (1) 本品の把持部を開く。
- (2) 本品の把持部でチューブを把持又は圧迫する。

3. 使用後

- (1) 本品に付着した血液等を除去するため、使用後速やかに洗浄を実施する。付着した血液等を乾燥させると、通常の洗浄過程で除去することが困難な場合がある。又、血液や組織片等が十分除去されない状態での滅菌操作や温水での洗浄操作により、タンパク質等が変性し、通常の洗浄過程での除去が困難となる場合がある。
- (2) 洗浄器や各種洗剤を使用する際はそれぞれの取扱説明書等の指示に従うこと。

- (3) 本品は再使用可能なため使用後は清浄な状態になるまで洗浄・滅菌を行い収納ケースに戻すこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

1. 本品の使用前に、変形、キズがないか確認すること。不具合が発見された場合は使用しないこと。
2. 本品には必要以上の力を加えないこと。
3. 本品は日常点検及び使用前点検により正常に作動することを確認すること。

＜その他の注意＞

1. 使用後は表面に付着している血液、体液、組織片及び薬品等が乾燥しないよう直ちに洗浄すること。
2. 塩素系及びヨウ素系の消毒液は腐食の原因となるので使用を避けること。使用中に付着した時には水洗いすること。
3. 再使用の際には不具合がないか必ず確認すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞＜保管の条件＞

- ・濡れた状態ではなく必ず乾燥させてから保管すること。
- ・保管の際、ラチェットを深く掛けないこと。

【取扱い上の注意】

取扱いをまちがえると不具合を生じることがあるので、使用方法、使用上の注意等を厳守すること。

【保守・点検に係る事項】

1. 動作機能の点検
 - 本品は日常点検及び使用前点検により有害な欠点がないことを確認すること。
2. 磨き粉や金属タワシで本品の表面を磨かないこと。表面に擦過傷を生じ腐食の原因になる。
3. 腐食（サビ）の防止として以下のことを厳守すること。
 - ・使用後は速やかに洗浄すること。
 - ・強アルカリ性や強酸性の洗剤、消毒剤は使用しないこと。
 - ・洗剤は中性洗剤（pH7～8）を使用すること。
 - ・汚れ、洗剤、消毒液は水洗いで完全に洗い落とすこと。
 - ・洗浄に使用する水は、できるだけ脱イオンあるいは蒸留したものをを使用すること。
 - ・洗浄後は十分に乾燥させること。
 - ・洗浄、乾燥後は水溶性潤滑剤を塗布することを推奨する。
4. 滅菌を行う場合は乾燥状態を確認の上行うこと。乾燥していないと滅菌不良が発生する可能性がある。
5. 滅菌方法については本添付文書【使用方法等】1. 使用前を参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

【製造販売元】 泉工医科貿易株式会社

【製造元】 Boss Instruments LTD.
ボスインスツルメンツ社
アメリカ合衆国

Instrumed International GmbH
インストゥルメッドインターナショナル社
ドイツ

[お問合せ先] 泉工医科工業株式会社 商品企画
TEL 03-3812-3254 FAX 03-3815-7011